

ほうがく ぶたい  
邦楽は 舞台間近に 見ばやとか  
いちよう きゅうけい  
銀杏の見ゆる 休憩の窓

令和六年十一月十六日

大中臣正比呂



秋は演奏会シーズンである。日比谷公園近くのイイノホールの窓からは、黄色く色づいた銀杏が見える。

約二時間の長唄の演奏会では歌詞がスクリーンに映し出される新しい試みがあった。しかし、歌詞は事前に読んでおかないと、なかなか解説はできない。今回は、なかなか聞けない「横笛」という平家物語の一節からの演目があった。この悲恋物語を現代的に理解するのは至難であろう。